

重粒子線治療を受けた皆様へ（臨床研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

QST病院（旧 放射線医学総合研究所病院）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名]限局性前立腺癌に対する炭素イオン線 51.6Gy(RBE)/12fr

～パッシブ法とスキャンニング法の長期成績比較～

（研究実施期間：許可日～2022年3月31日）

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 QST病院

[研究責任者] 粕谷 吾朗

[研究の目的] 限局性前立腺癌に対する炭素イオン線治療51.6Gy (RBE)/12回照射の長期成績を評価すること。特にパッシブ法とスキャンニング法という照射方法の違いによる比較を行うこと。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

前立腺癌の患者さんで、2010年7月～2011年10月、または2013年4月～2014年2月の間に12回照射による重粒子線治療を受けた方

●利用するカルテ情報

2020年10月までの診療記録を集計しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

（使用するデータ：診療録（カルテ）から得られる医療情報、（採血データ、有害事象、再発・生存状況など）、CTやMRIなどの画像情報）

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います）

患者様の権利と安全を守り、データの信頼性を確保するため、専門家がカルテを確認することがあります。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方、またはそのご家族は、2020年10月30日までにお申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、右記 [問い合わせ先：窓口] にお申し出ください。ただし、解析等に使ってしまった場合や個人情報と切り離されてしまった場合には取り除けないことがあります。その場合にも個人情報が表に出ることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 医局

電話：043-206-3306

平日：8：30～17：00